

江別市

ごみと資源物に関する事業所アンケート報告書

令和2年3月

江別市

(生活環境部環境室廃棄物対策課)

I 調査の概要

1 調査の目的

令和3年3月の「次期一般廃棄物処理基本計画」の策定に向け、現計画の検証や次期計画の施策を立案するための基礎資料とすることを目的に、市内事業所から排出される事業系一般廃棄物や資源物の排出状況及びごみ減量やリサイクルの考え方について調査した。

2 調査方法

- | | |
|----------|----------------------------------|
| (1) 調査期間 | 令和元年8月1日～8月30日 |
| (2) 調査方法 | 調査票を郵送し、同封の返信用封筒による回収 |
| (3) 抽出方法 | 市内事業所を18業種に区分し、各区分毎に統計書の構成に準じて抽出 |
| (4) 調査数 | 300事業所 |
| (5) 回答数 | 128事業所 (参考 H26年度 115事業所) |
| (6) 回答率 | 42.7パーセント (参考 H26年度 38.3パーセント) |

3 調査の項目

- (1) 属性情報
- (2) ごみ処理方法の認知度
- (3) 1週間当たりのごみ・資源物の排出量
- (4) 1カ月当たりのごみ処理費用
- (5) 妥当と思う事業系廃棄物処理手数料の負担割合
- (6) ごみ・資源物の処理方法
- (7) ごみの減量・リサイクルの取り組み状況
- (8) ごみの減量・リサイクルを進める上での問題点
- (9) ごみとリサイクルに関する市の取り組み等の認知度
- (10) 1日当たりの食品廃棄物の排出量 <<食品廃棄物排出事業者への設問>>
- (11) 食品廃棄物のリサイクルに対する考え方・取り組み <<食品廃棄物排出事業者への設問>>

4 その他

各設問の回答数の割合は、端数処理を行っていないため、表示された値を合計しても100%にならない場合がある。

II 調査の結果

1 属性情報

(1) 業種別の事業所数

業種名	送付数	回答数	回答率
1 農業・林業	3	2	67%
2 建設業(電気工事、塗装工事含む)	11	6	55%
3 製造業	13	9	69%
4 電気、ガス、熱供給、水道業	1	1	100%
5 情報通信業	2	1	50%
6 運輸業(タクシー、公共交通機関含む)	8	6	75%
7 卸売業、小売業(薬局、ガソリンスタンド含む)	80	24	30%
8 金融業、保険業	4	4	100%
9 不動産業、物品賃貸業	22	8	36%
10 学術研究、専門・技術サービス業(研究所、法律事務所、獣医業)	9	5	56%
11 宿泊業、飲食サービス業	40	6	15%
12 生活関連サービス業、娯楽業	30	7	23%
13 教育、学習支援業	20	13	65%
14 医療、福祉(保育園含む)	34	23	68%
15 複合サービス事業(協同組合、郵便局など)	2	1	50%
16 その他のサービス業(自動車整備、宗教関連施設など)	19	10	53%
17 公務(他に分類されるものを除く)	2	0	0%
18 その他()	0	1	-
無回答		1	-
計	300	128	42.7%

(2) 従業員規模別の事業所数

従業員数	回答数	割合
5人未満	19	15%
5人以上～10人未満	20	16%
10人以上～50人未満	60	47%
50人以上～100人未満	15	12%
100人以上	14	11%
無回答	0	0%
計	128	100%

(3) 延床面積規模別の事業所数

延床面積	回答数	割合
～30㎡以下	4	3%
30㎡超～100㎡以下	15	12%
100㎡超～300㎡以下	21	16%
300㎡超～1,000㎡以下	21	16%
1,000㎡超～	56	44%
無回答	11	9%
計	128	100%

2 ごみ処理方法の認知度

問1

事業所から出るごみは、産業廃棄物と事業系一般廃棄物に分類され、処分方法も異なります。
貴事業所のご担当者様は、このような分類や違いについてご存知でしたか？
該当する番号に○印を付けてください。

認知度	令和元年度		平成26年度	
	回答数	割合	回答数	割合
1 十分知っている	44	34%	43	38%
2 だいたい知っている	63	49%	58	50%
3 一部は知っている	15	12%	8	7%
4 あまり知らなかった	4	3%	2	2%
5 全く知らなかった	1	1%	0	0%
無回答	1	1%	4	3%
計	128	100%	115	100%

ごみの処理方法の認知度については、産業廃棄物と事業系一般廃棄物の処理方法の違いについては、「だいたい知っている」が63件（49%）と最も多く、次に「知っている」が44件（36%）となっています。

3 1週間あたりのごみ・資源物の排出量

問2

貴事業所から排出される1週間あたりのごみ・資源物の重量を記入してください。
重量が分からない場合は、1袋を40ℓとして、何袋排出されるか記入してください。

(1) 重量(kg)/週

排出量	燃やせるごみ		燃やせないごみ		資源物	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
5kg未満	3	2%	6	5%	7	5%
10kg未満	0	0%	2	2%	2	2%
50kg未満	7	5%	5	4%	6	5%
100kg未満	5	4%	5	4%	1	1%
200kg未満	5	4%	6	5%	2	2%
500kg未満	3	2%	2	2%	1	1%
1,000kg未満	0	0%	1	1%	0	0%
5,000kg未満	6	5%	1	1%	2	2%
5,000kg以上	2	2%	0	0%	1	1%
無回答	97	76%	100	78%	106	83%
計	128	100%	128	100%	128	100%

(2) 袋(40ℓ)/週

排出量	燃やせるごみ		燃やせないごみ		資源物	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
5袋未満	46	36%	47	37%	43	34%
10袋未満	15	12%	5	4%	9	7%
50袋未満	21	16%	6	5%	5	4%
100袋未満	2	2%	1	1%	2	2%
200袋未満	3	2%	0	0%	0	0%
50袋未満	1	1%	0	0%	0	0%
500袋以上	1	1%	0	0%	0	0%
無回答	39	30%	69	54%	69	54%
計	128	100%	128	100%	128	100%

1週間あたりのごみの排出量については、全種別で「5袋未満」が最も多く、「燃やせるごみ」が46件(36%)、「燃やせないごみ」が47件(37%)、「資源物」が43件(36%)となっています。

4 1か月当たりのごみ処理費用

問3

貴事業所の1ヶ月当たりのごみ処理費用について、該当する番号に○印を付けてください。

ごみ処理費用	令和元年度		平成26年度	
	回答数	割合	回答数	割合
1 5,000円以下	39	30%	23	20%
2 5,000円超～10,000円以下	16	13%	12	10%
3 10,000円超～20,000円以下	18	14%	23	20%
4 20,000円超～50,000円以下	18	14%	24	21%
5 50,000円超～100,000円以下	9	7%	8	7%
6 100,000円超	19	15%	14	12%
無回答	9	7%	11	10%
計	128	100%	115	100%

1か月当たりのごみ処理費用については、「5,000円以下」が39件（30%）と最も多く、次に「100,000円超」が19件（15%）となっています。

5 妥当と思う事業系廃棄物処理手数料の負担割合

問4

事業系一般廃棄物の処理手数料は市町村ごとに定めており、江別市においては、平成16年に当時の処理にかかる費用の約4割に当たる「110円/10kg」に改定しました。

現在は、処理施設に搬入されたごみの処理には「454円/10kg(過去3年平均)」の費用がかかっており、事業者の負担は3割を下回っています。

手数料を改定するとしたら、事業者は処理費用の何割を負担することが妥当だと思いますか。

妥当と思う事業系ごみ処理手数料の割合	回答数	割合
1 約4割(180円/10kg)	96	75%
2 約5割(220円/10kg)	19	15%
3 6割以上(270円/10kg～)	3	2%
無回答	10	8%
計	128	100%

ごみ処理手数料に関しては、「手数料を改定する場合の処理費の妥当な負担割合」の問いでは、「約4割（180円/10kg）」が96件（75%）と最も多く、次に「約5割（220円/10kg）」が19件（15%）となっています。

6 ごみ・資源物の処理方法

問5

貴事業所から排出されるごみ・資源物の品目ごとの主な処理方法について、該当する番号に○印を付けてください。

区分	品目	処理方法	と一	と産	と分	機排	無	計
			し般	業産	別別	会出		
			して	して	して	がす		
			廃	業	して	ない		
			棄	廃	資源			
			物	棄	物			
可燃物	コピー用紙	回答数	56	12	50	1	9	128
		割合	44%	9%	39%	1%	7%	100%
	新聞、雑誌、書籍、 チラシ、パンフレット	回答数	30	5	85	3	5	128
		割合	23%	4%	66%	2%	4%	100%
	ダンボール	回答数	17	4	101	2	4	128
		割合	13%	3%	79%	2%	3%	100%
	シュレッダーダスト	回答数	66	10	38	7	7	128
		割合	52%	8%	30%	5%	5%	100%
	紙パック	回答数	42	8	39	25	14	128
		割合	33%	6%	30%	20%	11%	100%
	紙くず等	回答数	77	13	27	3	8	128
		割合	60%	10%	21%	2%	6%	100%
	ペットボトル	回答数	25	10	83	4	6	128
		割合	20%	8%	65%	3%	5%	100%
	白色トレイ	回答数	38	10	20	46	14	128
		割合	30%	8%	16%	36%	11%	100%
	その他のトレイ	回答数	46	11	13	43	15	128
		割合	36%	9%	10%	34%	12%	100%
	発泡スチロール	回答数	51	20	19	25	13	128
		割合	40%	16%	15%	20%	10%	100%
	ビニール袋等 (軟質プラスチック)	回答数	70	22	14	12	10	128
		割合	55%	17%	11%	9%	8%	100%
	生ごみ、厨芥類	回答数	89	16	1	14	8	128
		割合	70%	13%	1%	11%	6%	100%
	布、衣類	回答数	66	17	5	29	11	128
		割合	52%	13%	4%	23%	9%	100%
	割り箸、竹串等	回答数	84	17	4	14	9	128
		割合	66%	13%	3%	11%	7%	100%
その他	回答数	66	10	2	15	35	128	
	割合	52%	8%	2%	12%	27%	100%	

「可燃物」の処理について、処理方法別で最も多い回答は、「一般廃棄物として処理」では「生ごみ、厨芥類」が 89 件 (70%)、「産業廃棄物として処理」では「ビニール袋」が 22 件 (17%)、「分別して資源物として処理」では「ダンボール」が 101 件 (79%) となっています。

区分	品目	処理方法	と一般廃棄物として処理	と産業廃棄物として処理	と分別して資源物として処理	機会排出がない	無回答	計
不燃物	びん	回答数	18	10	83	8	9	128
		割合	14%	8%	65%	6%	7%	100%
	かん	回答数	17	8	92	5	6	128
		割合	13%	6%	72%	4%	5%	100%
	まな板、塩ビパイプ等 (硬質プラスチック)	回答数	24	47	9	34	14	128
		割合	19%	37%	7%	27%	11%	100%
	廃木材、剪定木等	回答数	22	43	6	42	15	128
		割合	17%	34%	5%	33%	12%	100%
	ガラス (びんを除く)	回答数	16	49	8	41	14	128
		割合	13%	38%	6%	32%	11%	100%
	金属 (かんを除く)	回答数	15	48	25	27	13	128
		割合	12%	38%	20%	21%	10%	100%
	皮製品、ゴム製品、 陶磁器	回答数	25	42	6	39	16	128
		割合	20%	33%	5%	30%	13%	100%
	家具、布団、毛布、 敷物	回答数	18	30	6	58	16	128
		割合	14%	23%	5%	45%	13%	100%
	小型家電製品	回答数	9	39	16	48	16	128
		割合	7%	30%	13%	38%	13%	100%
	蛍光管、乾電池等	回答数	19	58	23	16	12	128
		割合	15%	45%	18%	13%	9%	100%

「不燃物」の処理について、処理方法別で最も多い回答は、「一般廃棄物として処理」では「皮製品、ゴム製品、陶磁器」が 25 件 (20%)、「産業廃棄物として処理」では「蛍光管、乾電池」が 58 件 (45%)、「分別して資源物として処理」では「かん」が 92 件 (72%) となっています。

7 ごみの減量・リサイクルの取り組み状況

問6

貴事業所で実施しているごみの減量やリサイクルの取り組みについて、該当する番号に○印を付けてください。(複数可)

取り組み	回答数
1 ごみの減量やリサイクルを事業所内に呼びかけている	47
2 ごみと資源物の分別を徹底している	84
3 ペーパーレス化を推進している	41
4 容器や包装の軽量化・簡素化に努めている	12
5 資源物の店頭回収を行っている	6
6 割り箸の撤廃やマイボトルの推奨など、「使い捨て」の削減に努めている	11
7 お客さまに対し、マイバックを推奨している(レジ袋有料化含む)	8
8 料理の食べきりやお持ち帰りの推奨など、食品ロスの削減に努めている	8
9 その他の取り組み()	2
10 特に取り組みを行っていない	18

【各事業所の取り組みの数】

取り組みの数	令和元年度		平成26年度	
	回答数	割合	回答数	割合
1個	44	34%	48	42%
2個	30	23%	18	16%
3個	19	15%	8	7%
4個	6	5%	2	2%
5個	3	2%	0	0%
6個以上	3	2%	0	0%
特に取り組みを行っていない	18	14%	39	34%
無回答	5	4%	0	0%
計	128	100%	115	100%

ごみの減量やリサイクルの取り組み状況について、最も「実施している」という回答が多かったのは「ごみと資源物の分別を徹底している」で84件、次に「ごみの減量やリサイクルを事業所内に呼びかけている」で47件となっています。

8 ごみの減量・リサイクルを進める上での問題点

問7

貴事業所で、ごみの減量やリサイクルを進める場合、問題(障害)となることについて、該当する番号に○印を付けてください。(複数可)

問題点	回答数
1 リサイクルできそうな物がない	12
2 資源物の保管場所が確保できない	19
3 ごみの減量やリサイクルの方法がわからない	6
4 従業員に分別を徹底させるのが難しい	16
5 分別に手間や費用がかかる	18
6 紙類は機密文章が多く、リサイクルが難しい	38
7 食品の売れ残りや食べ残しが多く、減量が難しい	2
8 ごみの減量やリサイクルによる経済的メリットが少ない	7
9 その他の問題()	5
10 特に問題はない	42

【各事業所の問題点の数】

問題点の数	令和元年度		平成26年度	
	回答数	割合	回答数	割合
1個	49	38%	46	40%
2個	23	18%	22	19%
3個	8	6%	4	3%
4個	1	1%	2	2%
5個	0	0%	0	0%
6個以上	0	0%	0	0%
特に問題点はない	42	33%	39	34%
無回答	5	4%	2	2%
計	128	100%	115	100%

ごみの減量やリサイクルに取り組む上での問題点について、最も多かった回答は、「紙類は機密文書が多く、リサイクルが難しい」が 38 件、次に「資源物の保管場所が確保できない」が 19 件となっています。

9 ごみとリサイクルに関する市の取り組み等の認知度

問8

市の取り組みや、ごみとリサイクルに関することについて、ご存知のものがありましたら、該当する番号に○印を付けてください。(複数可)

ごみやリサイクルに関する事項	回答数
1 市では事業所向けのごみ出しパンフレットを作成している	54
2 市ではマイバックやマイボトルの持参を推奨している	48
3 食べられるのに廃棄される「食品ロス」が問題となっている	68
4 「海洋プラスチック問題」などにより、プラスチックの削減や循環が求められている	65
5 市内に生ごみを堆肥化できる施設を持った民間事業者がある	9
6 市内に紙類や鉄くず類を有価物として持ち込める民間事業者がある	55
無回答	15

【各事業所の問題点の数】

ごみやリサイクルに関する事項の認知数	回答数	割合
1個	32	25%
2個	31	24%
3個	26	20%
4個以上	28	22%
無回答	11	9%
計	128	100%

リサイクル等の取り組みの認知度について、ごみ・リサイクルに関して知っているものは、「食品ロスが問題となっている」が68件と最も多く、次に「海洋プラスチック問題」が65件となっています。

10 1日当たりの食品廃棄物の排出量 <<食品廃棄物排出事業者への設問>>

問9

貴事業所から排出される食品廃棄物について、1日あたりの重量を記入してください。
重量が分からない場合は、1袋を40ℓとして、何袋排出されるか記入してください。

区分	発生源 排出量/日	回答数(全38件)				
		製造工程	売れ残り	調理過程	食べ残し	その他
重量 (kg)	5kg未満	1	0	3	6	1
	10kg未満	0	1	2	0	1
	50kg未満	0	0	1	1	0
	100kg未満	0	0	0	0	0
	200kg未満	1	1	0	0	0
	500kg未満	0	0	0	0	1
	1,000kg未満	0	0	0	0	0
	5,000kg未満	1	0	0	0	0
	5,000kg以上	0	0	0	0	0
袋	5袋未満	1	0	3	6	1
	10袋未満	0	1	2	0	1
	50袋未満	0	0	1	1	0
	100袋未満	0	0	0	0	0

一般廃棄物に該当する食品廃棄物としては、「売れ残り」は少なく、「調理過程」、「食べ残し」の発生量が多くなっています。

11 食品廃棄物のリサイクルに対する考え方・取り組み <<食品廃棄物排出事業者への設問>>

問10

貴事業所の食品廃棄物のリサイクルに対する考え方に最も近いものを選び、番号に○印を付けてください。すでにリサイクルを行っている場合は、その方法について記入してください。

妥当と思う事業系ごみ処理手数料の割合	回答数	割合
1 リサイクルしたいと思わない	6	16%
2 ごみ処理費が安くなるならリサイクルしたい	14	37%
3 手間や費用が変わらなくても、適切な方法があればリサイクルしたい	13	34%
4 多少の手間がかかっても、適切な方法があればリサイクルしたい	3	8%
5 すでにリサイクルしている	2	5%
計	38	100%

食品廃棄物のリサイクルについて、最も多い回答は「ごみ処理費用が安くなるならリサイクルしたい」で14件、次に「手間や費用が変わらなくても、適正な方法があればリサイクルしたい」で13件となっています。

《意見・要望》

1. 業種別なのに、質問が全部一緒はなじまないと思う。業種によっては自社で廃棄をしている。もっと丁寧に業種ごとの中身を理解して質問するべきではと思います。
2. 5374.jpをもっと使えるものにしてほしい。出た資源物を今捨てるにはどこに持ち込めるか、もしくは最短で収集が来るのが（自治会収集を含め）いつなのかが一番知りたい情報なので、そのリンクを再考してほしい。アプリの修正が難しければ、上記をもっと広く知れ渡るように情報の整理と告知量を増やす取り組みをしてほしい。
3. 一般家庭の分別の仕方に関して他市の方は驚いているようです。
4. 当館には常駐する職員等がないこともあり、館内の清掃・ゴミ分別等は外部業者へ委託しています。詳細が分からない部分が多々あり申し訳ありません。問2については、業者が定額（月当たり）で回収しているため、ゴミの分量等は分かっていません。
5. 事業系の蛍光灯回収場所（有料）があると助かります。機密文書の持ち込み焼却または溶解施設（有料）があると助かります。
6. 市のゴミ問題の取り組みや市が事業所に求めていることがまるで分からない。環境問題としてのゴミ対策の話はよく聞くが、市としての取り組みを、江別市はどのようにしていきたいのか？
7. プラスチック（包装用など）は札幌市ではリサイクルしているため、江別市もやるべきと考えます。
8. 事業所登録はしているが、一般家庭より少ないごみなので、自治会に入り家庭ごみと一緒に出している。放課後児童会なので、主にお菓子の袋、お茶の生ごみくらいである。ごみ内容により（量）事業所として特別袋を使う程ではない。以前は保育施設だったので給食生ごみ、オムツがあったが15年も前に児童会として事業している。段ボールや資源ごみは自治会や学校の回収に協力している。
9. 段ボールや紙類、ペットボトルや缶等、市や自治体の資源回収に出せるものは、出してもいい許可がもらえたら楽に分別できる。一般家庭と同量くらいしか出ない物も多く、業者にお問い合わせするのは大変気が引けることがある。リサイクル品は産業廃棄物、事業系一般ごみと違い、少人数の個人事業所としては本当のところは業者に連絡する手間を省き、自治体に出せると嬉しい（勿論少量の場合）。
10. 少しでもごみの量を減らすように気をつけたいと思います。
11. 排出抑制には、処理費用の負担割合を大きくすることが一番と考えます。事業者も当然、費用負担軽減のために減量化を推進することになります。高齢化が進む中、一定の負担割合の増加があっても、高齢者には排出のための行政からの支援があると理解を得ることが可能と考えます。特に障がい者、独居高齢者にとって冬期のごみ排出は危険を伴う場合もあり、一定の条件下で個別収集等を検討いただければと考えます。これについては、福祉サイドの意見を十分反映するため、地域包括支援センター等の意見を聴取することが肝要と考えます。
12. 江別清掃での月極のため、排出量は把握していない
13. 企業レベルでごみ（特にプラスチック）を出さない商品販売を推進する必要があると思います。